

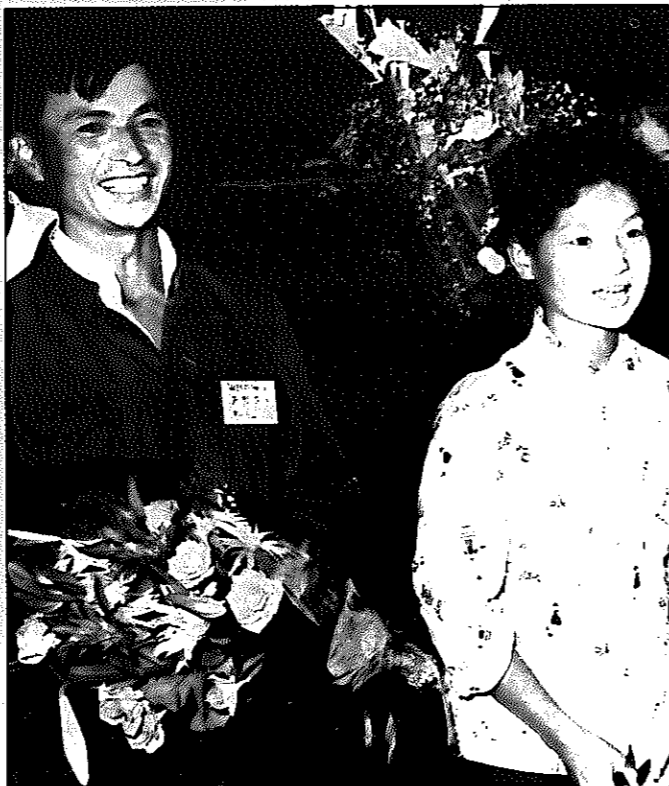
# ニイハオ！矢部さん一家お帰りなさい 42年の夢かない中国黒竜江省から両親の故郷へ



「政府や市民の皆さんのおかげで、家族一緒にここまで来ることができました。念願だった両親の墓参りもでき、感激しています」  
九月三日、中国の黒竜江省林口県から矢部良二さん（中国名・于 廣徳・42）一家が、一時帰国しました。

に一人残されました。昨年二月、中国残留日本人孤児の肉親捜し訪日団の一員として訪日の際、牛崎の古川浩一さんの妻で、矢部さんのいとこのマサさんが身元を確認しました。しかし、離日直前だったため、故郷訪問は断念せざるをえませんでした。

生活しています。今は古川さんの農作業の手伝いをしていきます。矢部さんも中国では農業に従事していますが、「中国ではほとんど手作業ですが、こちらはすべて機械化されている」と、感心した様子です。また、二女の平ちゃんを除く三人の子供たちは、庄瀬小学校へ一時留学をし元気に通っています。



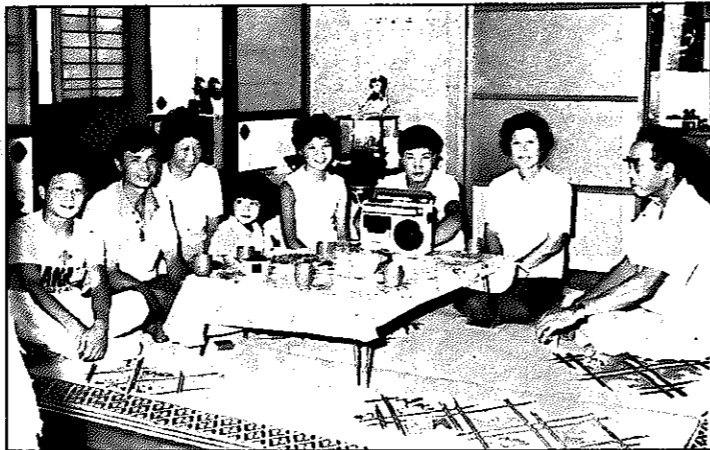
「矢部さんお帰りなさい」。9月3日、市長はじめ市民100人が出迎える中、上越新幹線で午後9時、燕三条駅に到着。ホームで歓迎を受ける



9月14日、市長を妻教訪問した後、庁舎内を見学。(写真は譲場で)



実りの秋を迎え、古川さんの稲刈りのお手伝い



身元引き受け人の古川さん夫婦と談笑する矢部さん一家。古川さんらの好意で、一軒家を借り生活しています



畑仕事を終え、家路につく



矢部さん一家の歓迎会は9月10日、庄瀬中学校体育館で開かれました。沿道で庄瀬小児童や地元民が両国国旗と拍手で迎える中、会場へ向かう



「学校は楽しいよ。友だちもたくさんできました」と話す厚宝さんは、5年に入学。また、厚才さんは6年に、秀燕さんは2年に入学し元気に通っています